

検討に当たっての基本的な考え方 【活性化】

令和7年6月24日
兵庫県まちづくり部公園緑地課

令和5年度、「県立都市公園のあり方検討会」において、共創の促進のため、活性化に関する以下の項目について、各県立都市公園で検討することが提言された。

■ 検討事項

- (1) 管理運営協議会等の拡充
- (2) 公園のさらなる利用、参画を促す取組・仕組みの検討
- (3) 「新たなパークマネジメント手法（民間活力導入）」を導入する際のルール設定
- (4) 公園施設の新設、改廃に関する合意形成のルール設定
- (5) 情報共有マネジメントの検討



■ 検討事項に関する甲山森林公園の検討予定

- (1) 管理運営協議会等の拡充
必要性を検討
- (2) 公園のさらなる利用、参画を促す取組・仕組みの検討
令和6年度に管理運営協議会で提案された「森の使い方プラン」の実現に向けた
取組・仕組みを検討
- (3) 「新たなパークマネジメント手法（民間活力導入）」を導入する際のルール設定
他公園の事例等をベースに検討
- (4) 公園施設の新設、改廃に関する合意形成のルール設定
他公園の事例等をベースに検討
- (5) 情報共有マネジメントの検討
公園の特性に応じた効果的な情報共有マネジメント方法を検討



【検討の方向性（提言書より）】

- ・公園のさらなる利用を促す取組・仕組みを検討する。
- ・公園の実情に応じて公園管理に公園利用者等が企画・行動する仕組みを検討する。

【検討内容】

「森の使い方プラン」において提案された事業例（※）の実現に向けた取組・仕組みを検討

（※資料 5－3 【参考】 森の使い方プラン「森の使い方の方向性」 参照）

（参考） 甲山森林公園で既に実施中の利活用イベント等

- 各種イベント（マルシェ、マーケット等）
- 公園資源を活用した体験事業の実施
（甲山ファミリー自然観察会、グリーンウッドワーク等）
- 子育て支援公園としての取組の実施（かるがもクラブ、子育てカフェ等）

(検討事項3)「新たなパークマネジメント手法（民間活力導入）」を導入する際のルール設定



【検討の方向性（提言書より）】

- ・導入に向けた各段階における、県民への情報発信や意見聴取等の手続きを設定する。

新たなパークマネジメント手法（民間活力導入）

：長期指定管理、Park-PFI等の、民間事業者の優れたノウハウと資金を呼び込む新たな公園管理の手法

【検討内容】

他公園の事例等をベースに、新たなパークマネジメント手法（民間活力導入）を導入する際のルール設定の必要性を検討

<各段階における手続きの設定(例)>

	事業可能性調査	調査結果公表	公募方針検討	公募開始	事業者決定
広く情報発信	●	●	●	●	●
協議会等へ説明	●	●	●		●
意見聴取		●	●		

<具体的手法(例)>

区分	具体的手法
広く情報発信	○記者発表、園内のポスター掲示、チラシ配布、HPへの掲載
協議会等へ説明	○管理運営協議会等に説明、必要に応じて意見を伺う
意見聴取	○公園利用者等からの意見聴取

（検討事項４）公園施設の新設、改廃に関する合意形成のルール設定



【検討の方向性（提言書より）】

- ・公園施設の新設や改廃等に関する合意形成・情報発信のルールを設定する。
- ・公園利用者等からの意見については、可能な限り、施設の利活用の方針に反映する。

【検討内容】

他公園の事例等をベースに、公園施設の新設、改廃に関する合意形成のルール設定の必要性を検討

＜甲山森林公園の現状＞

現在明確なルールは設定されていないが、なかよし池木製デッキ改修工事や健康器具の更新等について管理運営協議会に説明・報告の上、実施している。

＜合意形成・情報発信のルール設定(例)＞

必要な手続き	区分	
	施設※1の更新	施設※1の新設、廃止、用途の変更
管理運営協議会等への説明・相談	○	○※2
SNS、HP、現地看板等を通じた情報発信	○ (1ヶ月前から)	○ (3ヶ月前から)
公園利用者等への意見聴取 (利用者アンケート、関係団体へのヒアリング、HP等を通じた意見聴取など)	—	○

※1 上下水道、電気通信などのインフラを除く。

※2 ゾーニング図Aの変更(ゾーン変更)を伴う場合には、管理運営協議会等において合意形成を図る。



【検討の方向性（提言書より）】

- ・公園に関する情報について、公園利用者等とどのように共有するのか、**意見収集**と**情報伝達**の両面から整理したうえで、各公園の特性に応じた効果的な対策を検討する。

【検討内容】

公園の特性に応じた効果的な情報共有マネジメント方法を検討

■意見収集

- 利用者の多様な声を平常時から集める方法について検討。
- 障害のある方、子育て世帯等、声を届けにくい利用者の声を集める方法について検討。

＜具体的な対策(例)＞

- 公園利用者等への定期的なヒアリングの場の設置
- 管理運営協議会として、学校等を訪問し、要望等を聞き取る 等

■情報伝達

- 情報伝達の手法について、プッシュ型とプル型、デジタル型とアナログ型に整理し、効果的な情報伝達の方法について検討。

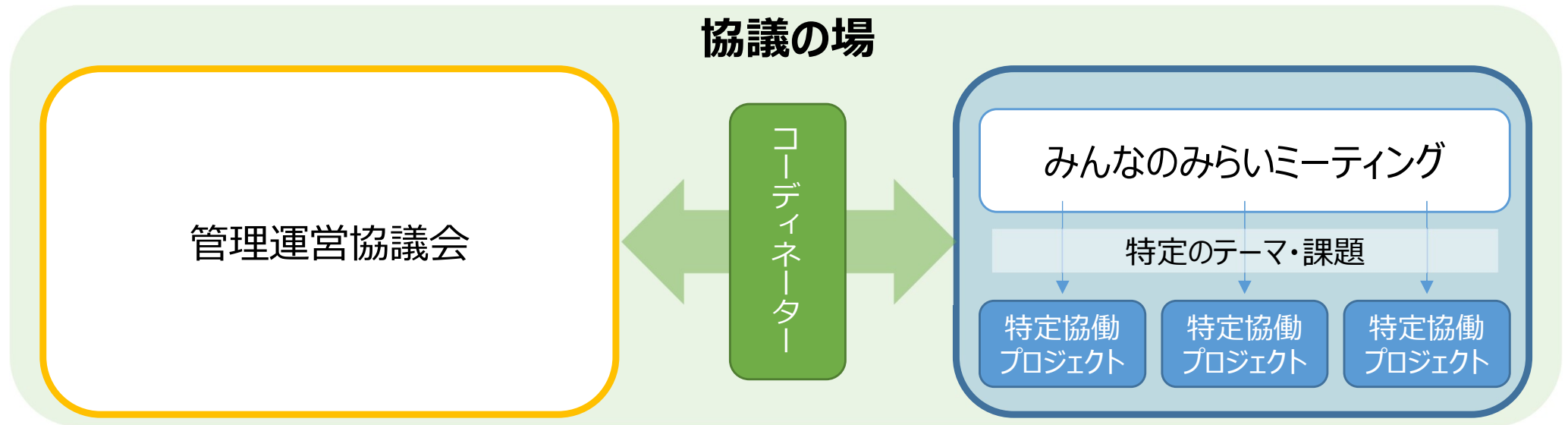
区分		具体例	実績等
プッシュ型 (能動的)	アナログ	新聞記事・広報誌	市観光サイト等にイベント情報や公園HPリンク先等を掲載 新聞記事・広報誌にイベント情報等を掲載
	デジタル	Instagram、Facebook、YouTube	Facebook※(フォロワー数665人) Instagram※(フォロワー数1,660人)
プル型 (受動的)	アナログ	窓口	随時対応
	デジタル	HPへのアクセス	イベント情報を適宜掲載
プッシュ・プル双方の特性を持つ媒体		PARKFUL（公園アプリ）	投稿1件、ビュー622※

※R7.4.16時点

【参考】公園のさらなる利用、参画を促す取組・仕組みの検討事例 (明石公園)



○明石公園の管理運営について協議する場として、「管理運営協議会」、「みんなの未来ミーティング」を設置。



	管理運営協議会	コーディネーター	みんなの未来ミーティング
メンバー	10名程度 〔兵庫県、明石市、指定管理者、 有識者、活動団体代表等〕	高田知紀県立大准教授 (当面の間)	誰でも参加可能（出入り自由）
役割	・公園の管理運営やルール等について協議	・みんなの未来ミーティングの運営 ・市民活動の伴走型支援	・誰もが自由に「談義」する ・情報や人が「マッチング」する ・取組を「企画」する
開催	年 2 回程度	—	年 4 回程度

※組織体制は随時見直しを行い、改善を図る。